

# 国の責任で守ろう！国民の生命と財産

## 道路・河川は、役割や目的に応じて国と地方が管理

いま、政府が進める「地方分権改革」では、「二重行政」の弊害を排除し、国と地方を通じた簡素で効率的な行政を実現するとして、国が管理している国道や河川を地方に移管しようとしています。しかし、本当に二重行政なのでしょうか？

### 役割に応じた管理が効率的

道路には「国道」や「都道府県道」「市町村道」があり、国・都道府県・市町村が道路の役割に応じてそれぞれ管理しています。同じ道路を国・都道府県・市町村と一緒に管理している箇所はありません。

たとえば、大規模な災害が発生した場合、緊急輸送や物流などの大動脈としての道路は国が、地域に密着した生活道路は県や市町村が、それぞれの役割や目的に応じて分担し、整備・管理することで迅速に対応しています。

このような国と県・市町村との役割分担こそが効率的であって、行政のムダをつくらないことなのです。

### 「災害列島」一国の責任は重大

全国には多くの河川があります。しかし、どれ一つとして同じ河川はありません。それぞれ国や県・市町村で分担して管理しています。特に、洪水などで水があふれると広範囲に地域住民の「生命」や「財産」に深刻な被害が出る河川や区域などは、国が責任を持って管理しています。

日本は、地震や台風、最近では地球温暖化が原因と言われるゲリラ豪雨など「災害列島」と言われています。だからこそ国が責任をもって、安全・安心の国土を作り、重要度の高い道路・河川を管理し、災害から国民の「生命」「財産」を守らなければなりません。

